

・**全世界**：北半球でのインフルエンザ流行状況

1 月になり北半球全体で季節性インフルエンザの流行が発生しています (WHO Influenza 2019-1-21)。米国やカナダでは A(H1N1)型の流行が中心で、例年並みの患者数です。ヨーロッパでは A(H1N1)型と A(H3N2)型の2つが流行しています。東アジアは A(H1N1)型が中心ですが、日本では A(H3N2)型も増えています。この時期に北半球を旅行する際には、手洗いやウガイなどを十分に行ってください。

・**アジア**：香港で百日咳患者が増加

2018 年に香港で百日咳患者が 110 人確認されました (英国 Fit For Travel)。2017 年の患者数 (69 人) に比べて倍近くになっています。百日咳は飛沫感染する病気で、香港のように人口密度の高い場所では拡大しやすい感染症です。日本では百日咳ワクチンの接種が乳幼児期の定期接種だけであるため、思春期以降の抵抗力が低下しています。香港などの流行地域に長期滞在する際には、三種混合ワクチン (ジフテリア、破傷風、百日咳の混合ワクチン) の追加接種を受けておくことを推奨します。

・**アジア**：シンガポールで Dengue 熱患者が増加傾向

シンガポールでは今年 1 月初旬の 1 週間で約 200 人の Dengue 熱患者が発生しました (ProMED 2019-1-12)。同国では 2018 年に Dengue 熱患者が約 3000 人確認されていますが、今年はそれを上回る数になることが予想されます (Outbreak News Today 2019-1-9)。ここ数年、シンガポールでは Dengue 熱の大きな流行がみられなかったため、今年は注意が必要です。

・**アフリカ**：コンゴ民主共和国での Ebola 熱流行状況

コンゴ民主共和国北東部で発生している Ebola 熱の流行は 1 月も続いています。昨年 8 月に流行が始まってから今年 1 月 21 日までの累積患者数 (疑いを含む) は 699 人で、うち 433 人が死亡しました (WHO Disease outbreak news 2019-1-23)。今まで患者発生の多かった Beni では流行が鎮静化していますが、別の地域での患者数が増えている模様です。最近 1 カ月間の患者発生数も約 100 人で大きな変化はありません。感染経路としては、患者を介護する際の接触とともに、葬式での遺体との接触も多

いようです(WHO Disease outbreak news 2019-1-4)。

・**アフリカ： ナイジェリアで黄熱が流行**

西アフリカのナイジェリアでは2017年9月から黄熱の流行が拡大しており、2018年11月までに全土で3500人以上の患者が確認されました(米国 CDC 2019-1-18)。患者発生は南部のEdo州で多く、州都Benin cityの近郊でも患者が発生しています(WHO Disease outbreak news 2019-1-19)。

・**欧州： ウクライナで麻疹の流行が拡大**

東欧のウクライナで昨年12月下旬から麻疹の流行が拡大しています。ポーランド国境に近いLiviなどを中心に、患者数は1月中旬までに5000人以上にのぼっています(ProMED 2019-1-12)。隣接するポーランドでも昨年11月～12月に300人以上の麻疹患者が確認されました(Outbreak News Today 2019-1-7)。ウクライナやポーランドに滞在する際には麻疹ワクチンの接種を検討してください。

・**中南米： アルゼンチンでハンタウイルス感染症が増加**

アルゼンチン南部のパタゴニア地方でハンタウイルス感染症の患者が増加しています。Chebut県では昨年10月末から今年1月20日までに29人の患者が発生し、11人が死亡しました(WHO Disease outbreak news 2019-1-23)。アメリカ大陸のハンタウイルスは重症の肺炎をおこします。ウイルスを保有するネズミの糞尿などから感染しますが、アルゼンチンでは以前に、患者から直接感染したケースもありました。今回の集団発生もその可能性があるため、慎重な調査が行われています。